

準備OK？

妊娠を考えるなら、 麻しん風しん混合ワクチンを

ご結婚おめでとうございます！

新生活の準備でお忙しいことだと思いますが、妊娠を考えるなら、
麻しん風しん混合ワクチン（MRワクチン）の接種を
ご検討ください。（相談はお住いの市区町村へ）

妊活の第一歩！

- 20-40代の女性の約14%は、風しんの感染予防に十分な抗体を持っていません。
- 妊娠中、特に妊娠初期に風しんにかかると、赤ちゃんに難聴、心疾患、白内障などの障がい（先天性風しん症候群）が出る可能性があります。



妊娠中は予防接種が受けることができません。妊娠前に予防接種を受けることをご検討ください。

男性も注目！

- 風しんの報告の7割以上が男性、そのうち8割以上が20-40歳代。

女性：23%



【風しんの報告】



50代以上：9%

20-40代：81%

20代未満：10%

【男性の年代別風しん報告割合】

出典：国立感染症研究所（2013年）

万が一、お二人の赤ちゃんが先天性風しん症候群にならないように、
妊婦の周りにいる男性も予防接種を受けることをご検討ください。

予防接種の必要性は、抗体検査でわかります

- 予防接種を受けているか不明な方、風しんにかかったことが確実でない方は、ぜひこの機会に風しんの抗体検査をご検討ください。
- 現在、多くの自治体では先天性風しん症候群の予防のために、主として妊娠を希望する女性を対象に、風しんの抗体検査(免疫の状態を調べるために血液検査)を無料で実施しています。

※風しんの抗体検査の実施状況については、自治体によって異なりますので、抗体検査を希望される方はお住まいの地域の保健所までご相談ください。

